

裾野市における定住型モデル都市の提案

「活力の途絶えないまち」

～絶えず変化する住み続けたいくなるまち～

未来のまち＝スマートシティ

工学院大学建築学部 西森研究室

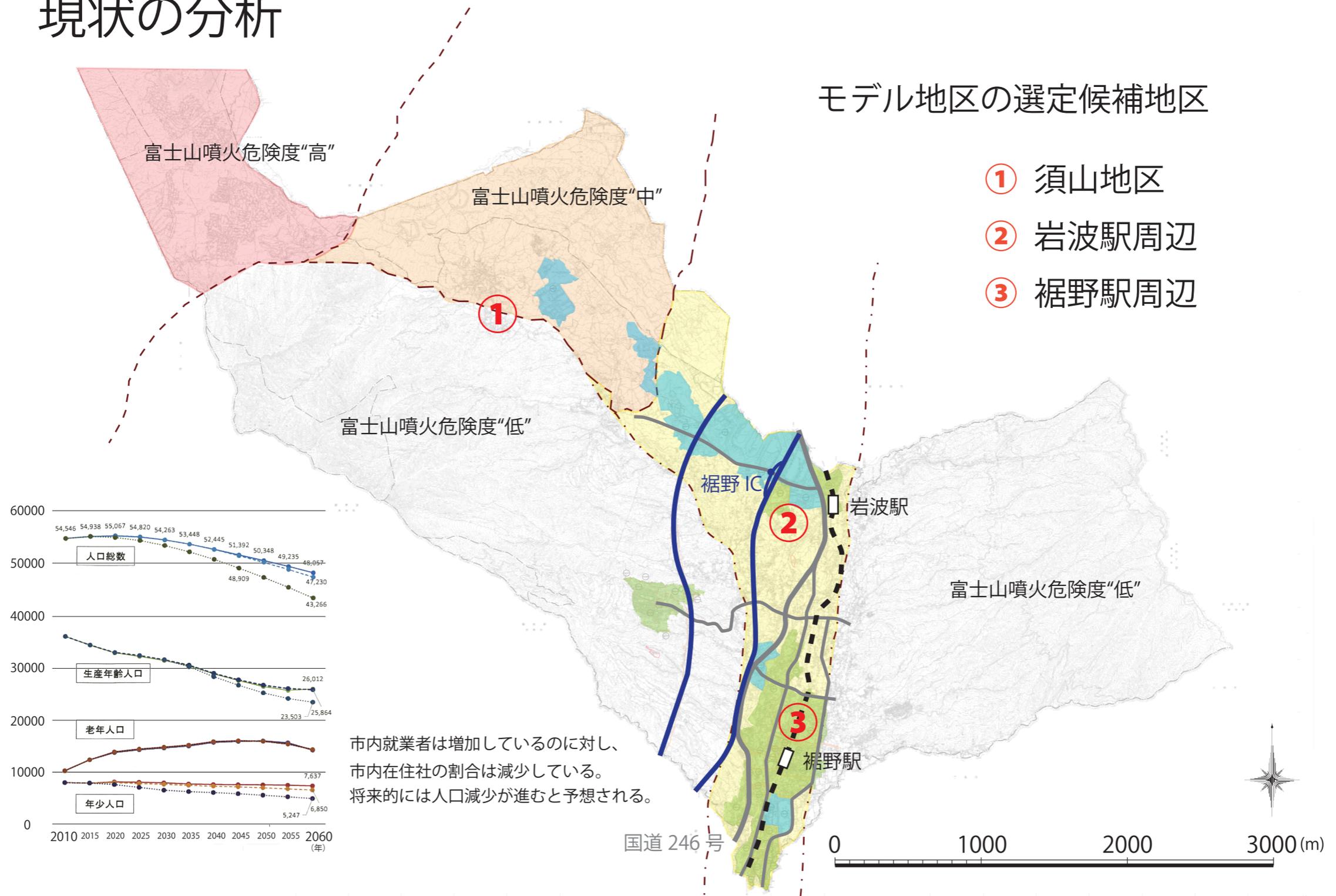
2016年2月9日

発表の進め方

- 1 中間発表のまとめ
- 2 アンケート結果の報告
- 3 モデル地区の提案詳細
- 4 質疑応答

1 中間発表のまとめ

現状の分析



比較表

	1 須山地区	2 岩波駅周辺	3 裾野駅周辺
交通ネットワーク	×	◎	○
都市インフラの整備	○	○	◎
豊かな自然環境	◎	○	×
職住近接	○	◎	△
子供の教育施設の近さ	○	△	○
商業施設生活利便施設	×	○	◎
敷地の広さ	○	○	×
敷地の平坦さ	×	○	○
富士山との関係	○	○	△
噴火時の安全性	◎	○	○
その他	須山浅間神社をはじめとする歴史があり、周辺にレクリエーション施設も多い。	工場研究所に最も近く確実に住宅の需要がある。	市街化区域であり、既存の都市計画を変更する事なく開発が可能。
総評	△	◎	○

“活力の絶えないまち”

Concept

“絶えず変化する住み続けたいくなるまち”

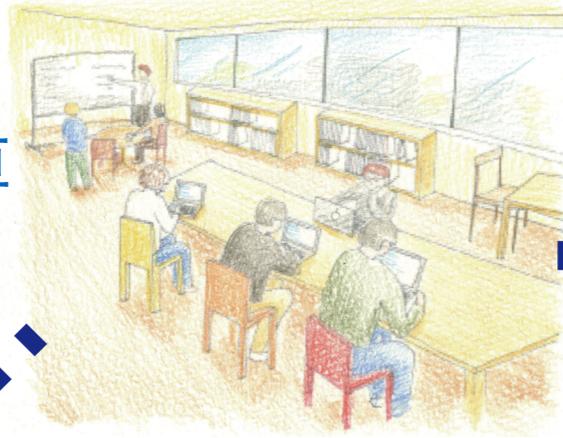
Concept

“未来のまち＝スマートシティ”

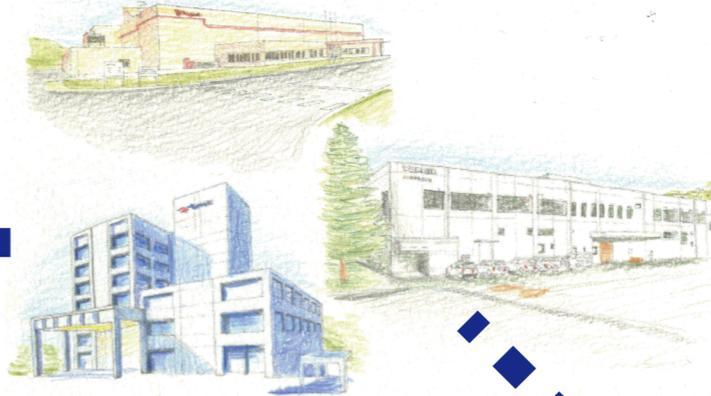
Concept

全体構想

コミュニティオフィス



工場・研究所



EV / 燃料電池車

コミュニティ施設



岩波駅



再生可能エネルギー

緑陰住宅



オープンスペース / 緑地公園



BRT・LRT



裾野市が目指す未来のまちとは

●新しいまちと工場、研究所の関係

- ・ コミュニティオフィスで広がる新しい可能性。
- ・ クラウドで仕事や街の情報を管理共有



●生活とコミュニティ

- ・ 地場木材活用と緑に囲まれた快適な住宅
- ・ SI技術で最新の設備にアップデート
- ・ 生活補助ロボットがサポート
- ・ 活発なコミュニティ活動



●交通ネットワークとパブリックスペース

- ・ エリアを結ぶBRT/LRT
- ・ 電気自動車、燃料電池車のカーシェアリング
- ・ 緑豊かなオープンスペース



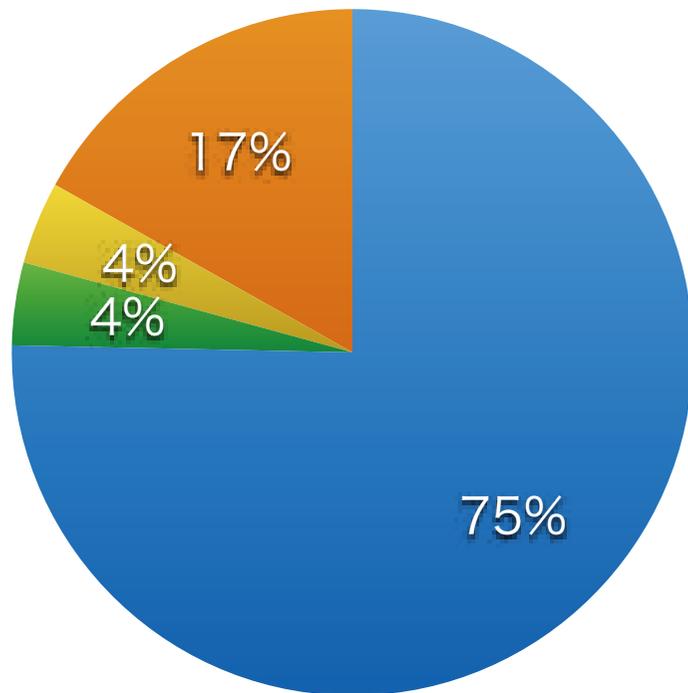
誰もが住みたくなるような「活力の途絶えないまち」裾野

裾野中間発表アンケート集計

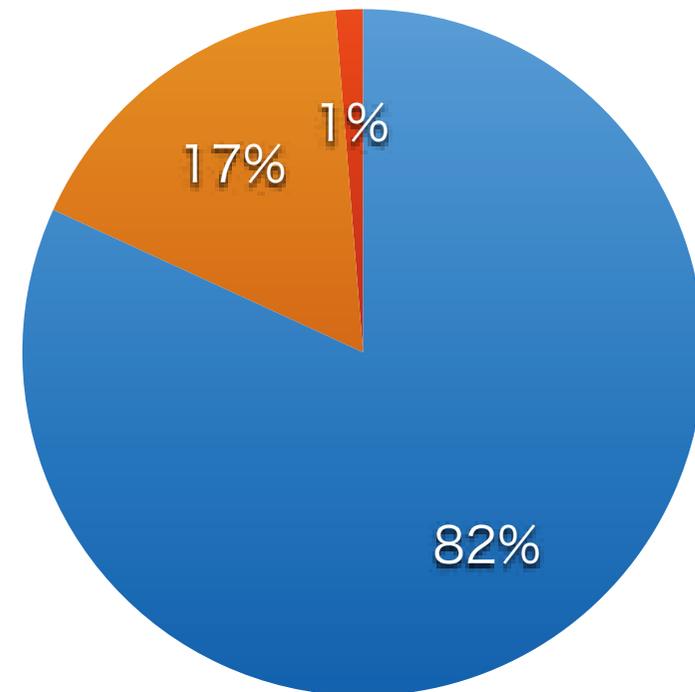
1. 現在の住まいと勤務先について

回答者数：77

a 現在の住まい



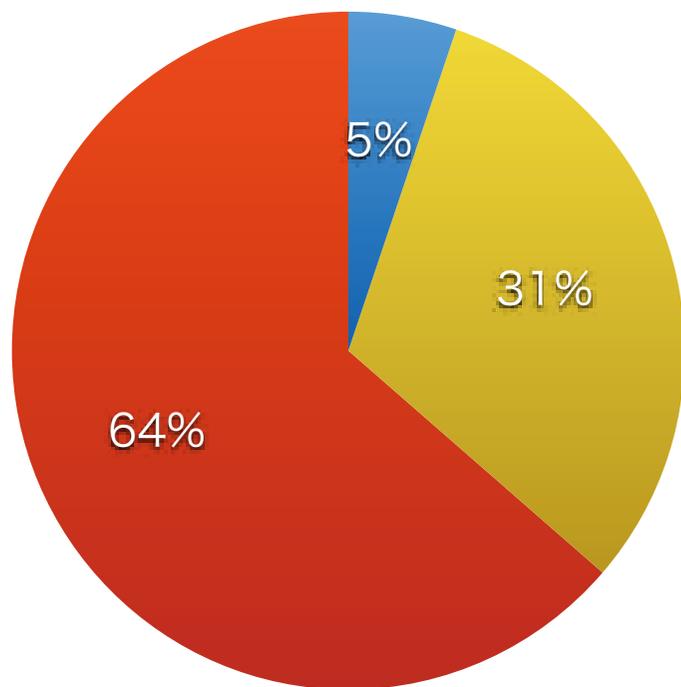
b 勤務先



● 1.裾野市 ● 2.御殿場市 ● 3.三島市 ● 4.その他静岡県内 ● 5.静岡県外

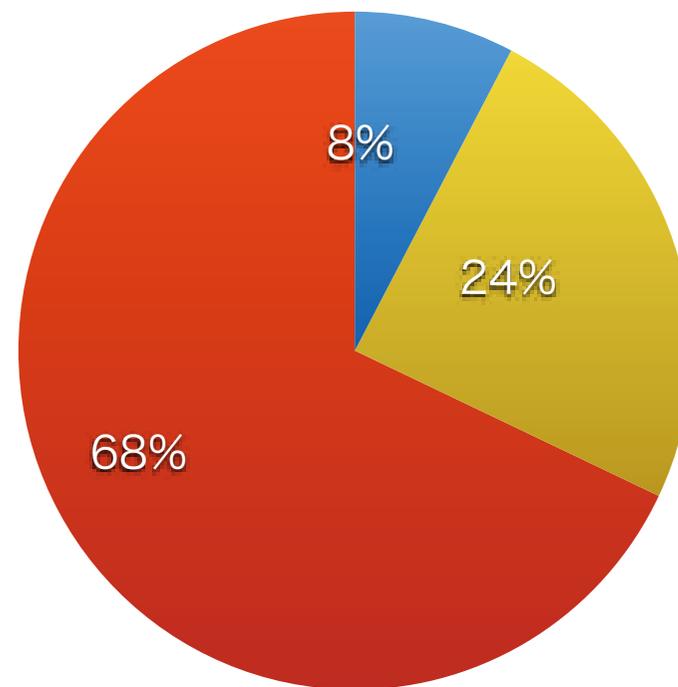
2. 生活利便施設と交通について

a 生活利便施設について



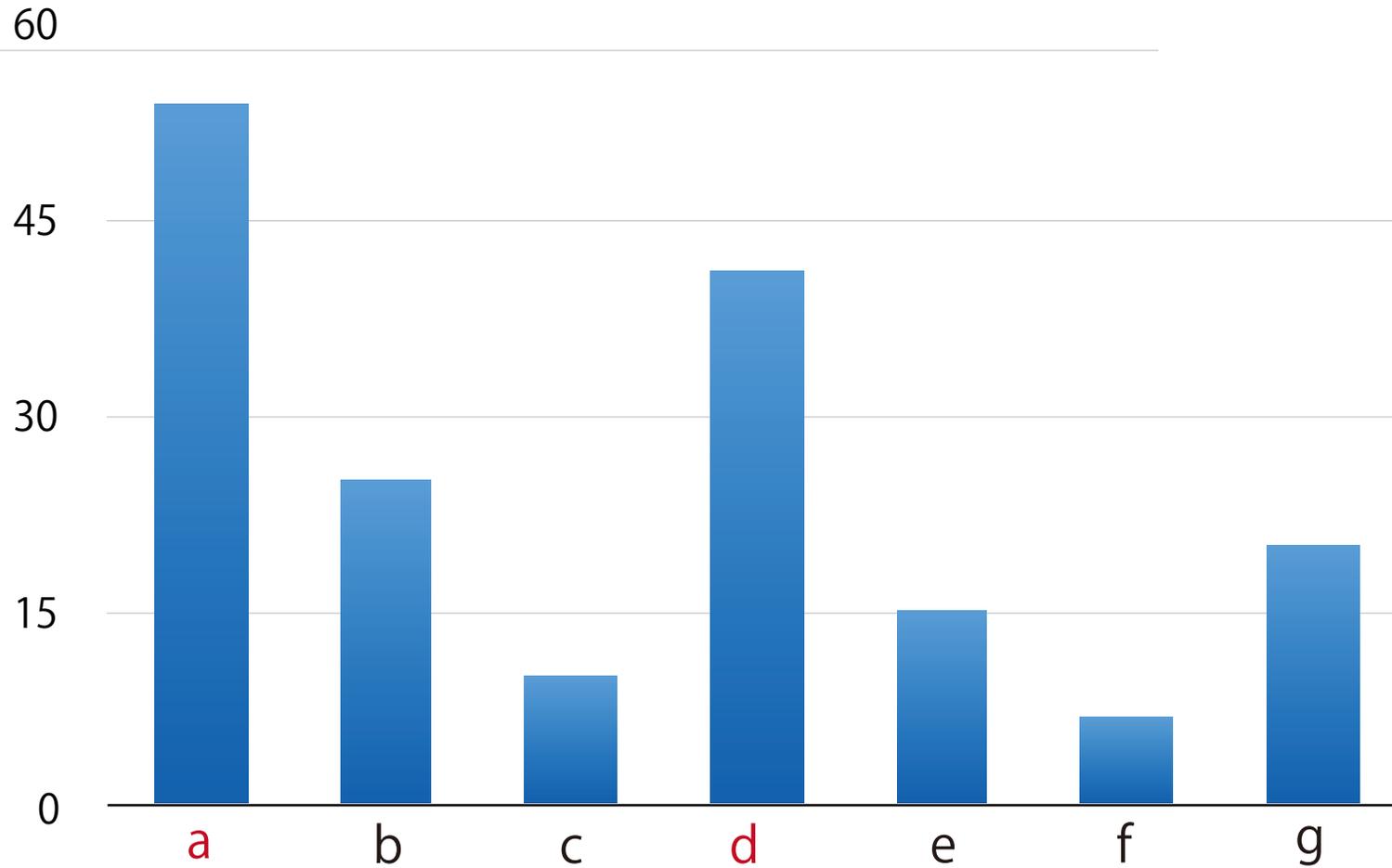
● 1.整っている ● 2.普通 ● 3.不足している

b 交通や移動について



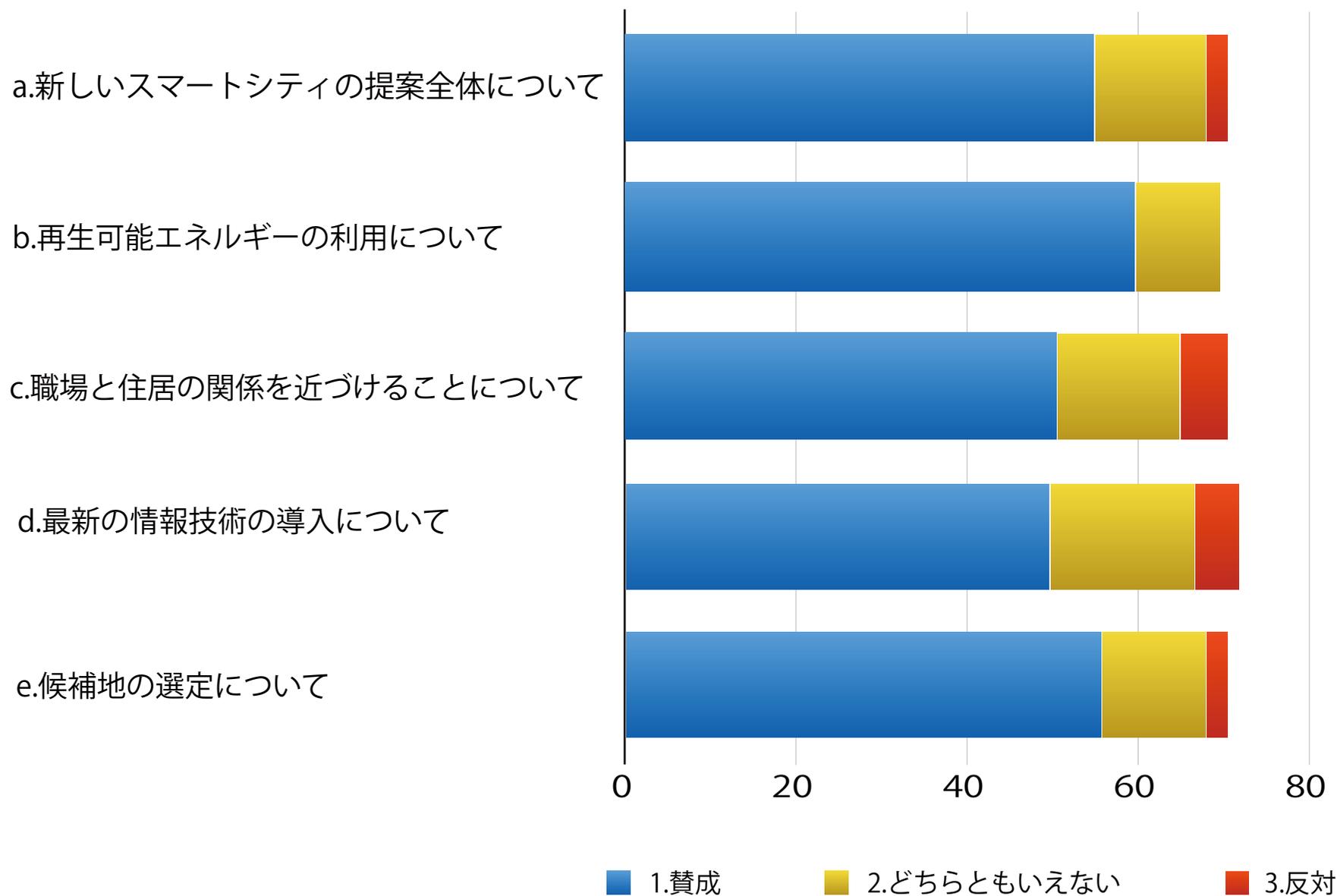
● 1.不自由なく移動できる ● 2.普通 ● 3.不便である

3. 裾野市の将来像について



- a. 公共交通の充実
- b. 教育施設の充実
- c. 緑地の充実
- d. 生活利便施設の充実
- e. 文化施設の充実
- f. 防災対策の充実
- g. 労働環境の改善

4. 今回の提案内容について



5. その他の意見

全体的な印象として、実現を目指して頑張ってもらいたい、素晴らしい提案に協力したい、といった意見が多かった。しかし、提案は良しとするが、本当に実現することができるのか？不可能ではないか？といった意見も複数見られる。理由として、具体的な手順や時間が不明確であること、コスト面に問題がある、裾野ならでの提案ではない、といった意見がある。

その他具体的な内容として上がっていたもの

- 地中熱の利用
- 電力は再生可能エネルギーのみで足りるか
- トヨタの研究所がある強みを活かさないか
- 河川で分断されている東西方向への対策が必要
- 周辺の地域と交流できる仕組みが欲しい
- 文化、健康の視点が必要→生活が続かない
- 陸上競技場周辺にスポーツ系大学を作るのはどうか
- etc...

これらのアンケート結果を踏まえて ...

モデル地区の提案

岩波駅周辺地区を対象とした定住型都市の提案

CONCEPT

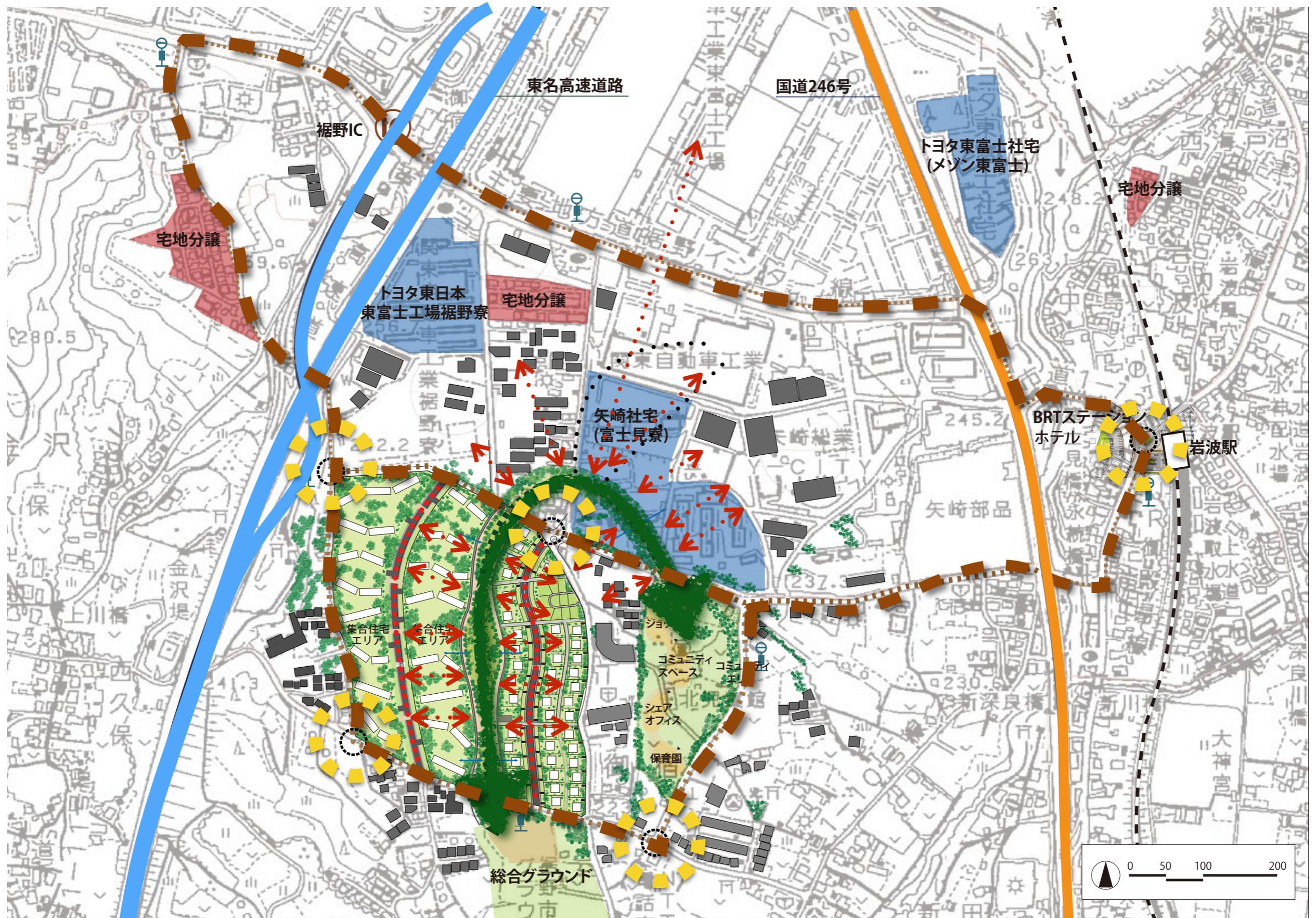
- 1、職住近接のまちづくり
- 2、理想的な環境の緑陰住宅
- 3、次世代の環境水準を目指すスマートシティ
- 4、老人から子供までが豊かに暮らせるジェネレーションフリーなまちづくり
- 5、世界的な企業と連携した実験的な環境技術の採用
- 6、21世紀のモデル都市

全体マスタープラン

BRT

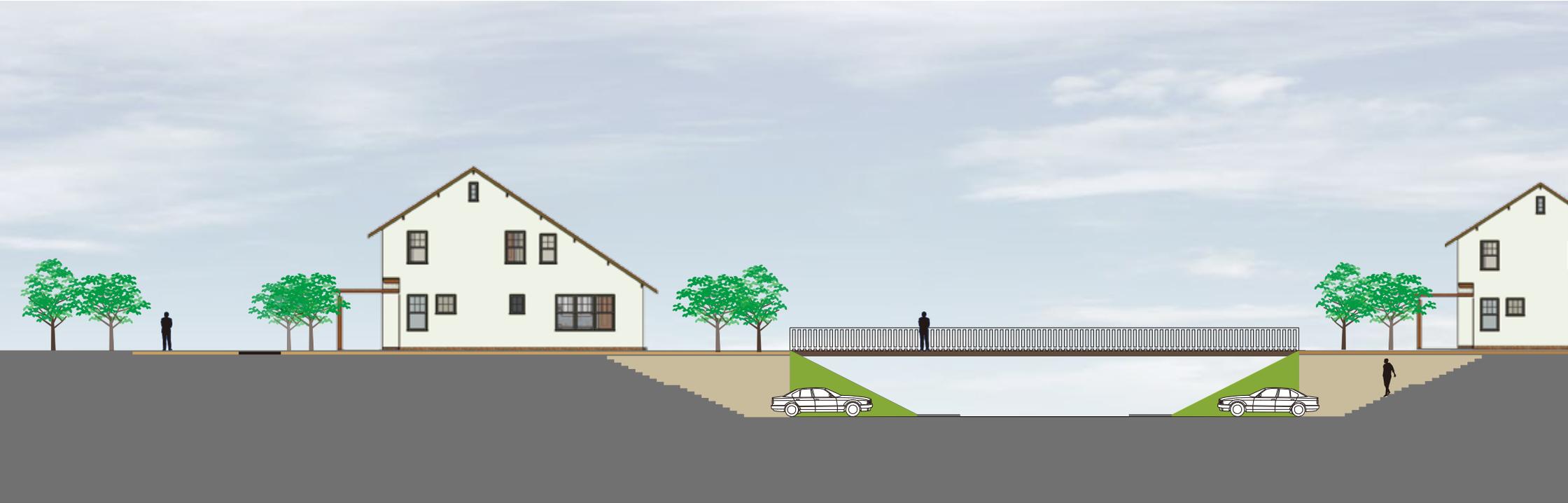
グリーンベルト

再生可能エネルギーの再分配



住宅エリア

住宅エリア断面図



住宅エリア



コミュニティエリア

コミュニティオフィス



コミュニティエリア施設

コミュニティセンターでできること

●健康管理の拠点「ヘルスステーション」。フィットネスやヨガなどの教室、各種クリニック、ウェアラブル端末での健康管理と合わせて健康的な生活をサポートする。

●子供・親子のためのインタープリテーションプログラムも実施、子供たちに可能な限り裾野や富士山の魅力を伝え、この街に住み続けたいというイメージを持ってもらう。地域住民の交流のきっかけにもなる。

ショップでできること

●通常の買い物ができるだけでなく、オムニチャネルの拠点として、ネット通販の注文・受け取り・カタログ等の閲覧などが可能。従来よりも自由な買い物スタイルの実現。



駅周辺エリア



eco station

ホテル・レストラン

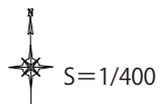
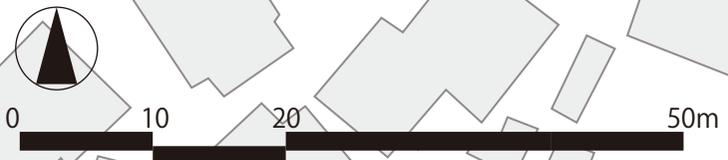
駐車場

岩波駅

御殿場線

BRT
管理
事務所

BRT ターミナル



BRT ターミナルとホテル



提案まとめ

【住宅エリア】

●戸建住宅

- ・太陽光発電
- ・地中熱利用
- ・SI

●集合住宅

- ・太陽光発電
- ・木質ペレット空調システム
- ・自動走行ロボット
- ・SI

●グリーンベルト

- ・ソーラーパネル
- ・エネルギーの輸送



【コミュニティエリア】

●コミュニティオフィス

- ・サードプレイス
- ・情報交換の場

●コミュニティスペース

- ・ヘルスステーション
- ・ウェアラブルコンピュータ
- ・インタープリテーション

●ショップ

- ・オムニチャンネル
- ・農業の直売所



【駅周辺エリア】

●BRT ターミナル

- ・ITS
- ・自動運転

●ホテル

- ・研修施設
- ・レストラン
- ・ショップ

●充電スポット

- ・EV 充電スポット
- ・水素ステーション

